

動物飼育活動に関する教員研修の広がりとこれからの課題 —「具体的命の教育」「生物教育の基礎」として—

中川美穂子

1 はじめに

1月26・27日に名城大学で開催された日本生物教育学会で、「生物教育の基礎としての実験・観察など、生体とかわるることに関する授業が、保育士養成過程に規定されている。しかし、幼稚園には規定されていないが、実際には行っている。また中学校でも規定があるが、小学校教師に関しては全く規定がない。」と発表があった。

発表者は「これでは生命尊重の基礎ともいふべき命の実感が与えられない」と危惧し、小学校時代に学校で動物飼育をすることは有効な手段だが、その運用に関する授業を受けていない教師が困難を感じて、飼育体験を軽んじる傾向が見られることに「大きな危惧を感じる」と報告した。

2 学校の近所の動物病院から

小学生を持つ獣医師たちは、この問題に昭和50年代から気付き、各地で学校への支援を個人的に行ってきたが、やがて地域の組織として、公立小学校を支援する獣医師会が見られてきた。平成になると、地域獣医師会に、公立小学校や幼稚園の動物の診療や飼育相談を委託する市区町村行政が現れて、平成3年には飼育指導を獣医師会に委託する初めての契約が報告されている。このような行政と獣医師会との連携事例は、毎年増加し、日本獣医師会の調査では、平成17年度現在、都道府県や政令都市の社団法人の地方獣医師会の8割が学校に対応すると回答している。また獣医師会と連携・協力する自治体は121市区町村と23都道府県、9政令都市の153箇所になっている。この都道府県を市区町村で換算すると、市区町村は1,090を超えてきており、全市区町村の6割に上っている(図1)。

3 講演会の全国展開

平成9年になると、小動物対象の動物病院長が所属している日本小動物獣医師会が、学校飼育動物委員会を設置し、全国で「学校動物に関する市民公開講座」を開催し始め、中川や群馬県獣医師会の桑原保光氏(全

獣医師会と連携・協力している自治体数の推移
(獣医師会独自の活動もふくめて)

121市区町村と23都道府県 9政令都市 (40都道府県)

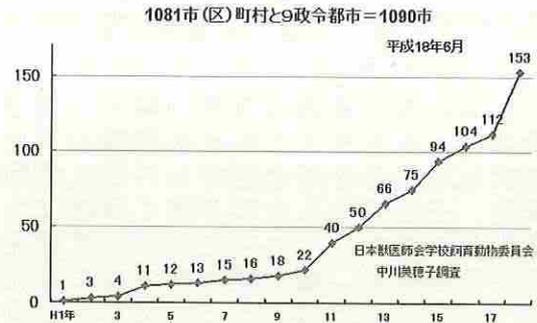


図1

国学校飼育動物研究会副会長)が講師を務めた。また、当時の文部省に「学校の飼育の現状と獣医師の支援」を報告し、生活科や特別活動担当の視学官がたに講演活動への支援を求めた。このこともあり、平成10年に大宮でのウサギ生き埋め事件への対応として文部省が日本初等理科研究会に委嘱した「学校における望ましい動物飼育のあり方」作成委員に中川が招請された。この指導書は平成15年に文部科学省から全国配送され、また平成19年春に中川もかわり手直しして同省のHPに公開されている。

4 教員研修の実施

上記の市民公開講座開催時は地域の教育委員会に案内したが、平成11年になると、獣医師会と契約した群馬県や栃木県で教員への研修が開催されるようになってきた。東京都では、中川の地元の獣医師会が昭和57年から管内6市に働きかけていたが、平成3,4年に市行政と連携がはじまり、小平市や保谷市で教員研修が開催されたが継続はされなかった。平成11年になると、さいたま市が獣医師会と連携の上、毎年教員研修を行うようになった。東京都では、教職員研修センターが教員向けに一度シンポジウムを開いたが、これも継続されなかったが、自治体単位では徐々に教育委員会が獣医師を講師に呼ぶようになっていった。平成12,13年ころになると、八戸市のように教育委員会が

講習会に参加して、その後獣医師会と契約する事例が出てきた。

平成から始まった獣医師会と自治体との連携事業は図1のように年々増加し、それに伴い教員研修の実施も平成14年ごろから目だって増得てきた。平成19年に中川に報告されているだけで、全国28都府県と9政令都市で83回も開催されている(図2)。

5 研修の内容の推移

当初、この研修の目的は、動物飼育の課題に対応するため、つまり「望ましい飼育方法」を伝えることにあった。現在でもそのような内容のところは多いが、飼育の根本の課題は、教師が、飼育する目的や意義も考える時間をもてないまま赴任先の動物たちに対応せざるを得ないことであり、その結果、自信も意欲もわからない飼育活動を子どもに提供しがちなことである。その結果、子どもたちの成長・教育に役立つまでには、飼育活動を活用できない例が多く見られる。

近年、人と動物の関係が明らかになりつつあり、動物との交流が与える、人への身体的、心理的な影響が知られてきている。また昨年我々は、「学年全員で一年間、学校固有のウサギやチャボを飼育した4年生は、その体験のない子たちに比べて、動物への共感性と人への優しさ(向社会的行動)が有意の差をもって向上していた」と報告している*。これらを踏まえて、最近の教員研修では、この哺乳類や愛玩鳥など、人と目を合わせて、感情のやり取りができる種類を飼育する意義、子どもへの影響、また学年で総合の学習の核に飼育活動をすえた学校の方法と成果などを紹介している。

また、「動物の扱いになれること」と同時に、動物を抱いて「そのときにわきあがる好ましい感情を体験するために」、子どもと同様に、教員向けのふれあい教室の実習も群馬県や栃木県、また東京の板橋区、町田市でおこなわれている。

動物はかわいいと思ってこそ、子どもの育ちに影響することが分かっているが、大人が「子どもが心をかけている小さな弱い

存在である動物」に心をかけてみせることで、子ども達は大人に感謝する。また、大人が動物を大事に扱うということは、それを心配している子どもの心を大事に通じるとというのが、各地で教員への講習を受け持っている獣医師たちの思いである。開業の獣医師たち(動物病院院長)は、診療室を留守にすることに抵抗があるのが事実だが、多くの場合、わが子が学校に通いだして初めて学校の動物に気づき、それで、我が子が動物から得られるさまざまな良い影響を、ほかの子ども達にも得られるように、よりよい子どもと動物の関係構築を願ひ、地元の園・学校にかかわっている。

6 おわりに

獣医師たちが好意で、動物が増えすぎて喧嘩などのトラブルをおこさないようにと、全国的に学校のウサギたちの避妊手術をしてきたこともあり、多くの学校では飼育動物の数が減少してきている。この減少を良いことに、残念ながら教員や管理職が、飼育の有効活用の子どもの影響を理解できないまま、飼育を止める現象がでてきている。子育て家庭での動物保有率が下がってきている今、この現象は、子どもたちに生物教育・命の教育・道徳教育、そのほかの人の土台を作るためには大きな損失になるだろう。

教員研修はようやく広がってきたところだが、早く広く教育関係者の理解を得るために、研修の対象者を飼育担当だけにするのではなく、群馬県や福岡県、横浜市で行われているように初任者研修、10年目研修にいて、悉皆研修にすべきと考える。

またなにより、管理職研修、そして指導主事の研修に「命の教育」の具体的な方法としての飼育活動の意義と維持方法の講義を設け、子どもたちの「バーチャルでなく、生きた動物の飼育体験」が確保されることを祈念している。

(全国学校飼育動物獣医師連絡協議会
／西東京市学校獣医師)

図2 全国の教員研修の状況

県名	年月日 報告により	獣医師による教職員向け研修実績	内容
青森県	H19年6月	教育委員会と獣医師会	八戸市 ふれあい指導・説明と前年の成果検討会
宮城県	H20年2月3日	教員・市民研修	飼育の教育的意義と獣医師の役割
福島県	H19年7月5日	私立幼稚園協会	将来の育児につながる動物飼育体験～生命への感性を開く～
茨城県	毎年	教員研修 意義とあり方	各地の専門家を講師に招請
栃木県	H19年7月24日	県 生活科担当教諭(若手)	「飼育の意義とあり方」と実習
	H19年10月16日	県南 幼稚園教諭 研修	同上
	H19年10月25日	県北 幼稚園教諭 研修	同上
	H20年1月17日	市民・教員研修	脳の発達と動物飼育
群馬県	H19年3月	県 学校事務長 研修	講義「生命尊重教育の必要性和飼育舎の大切さ」
	H19年6月29日	県 新任管理職 研修	講義「生命尊重教育の必要性について」
	H19年10月3日	県 小学校・幼稚園・保育所教員	講義と実習 うさぎとのふれあい方指導
	H19年10月	私立幼稚園教員 研修	講義と実習 うさぎとのふれあい方指導
	H19年11月14日	県 小学校・幼稚園・保育所教員	講義と実習「先進校に学ぶ学校飼育動物」(先進校視察もあり)
	H20年1月15日	県 初任者 研修	講義と実習
埼玉県	H19年5月23日	蕨市・戸田市 教員研修	講義「命と理科の教育のための動物飼育」
	H19年	川越市 教員研修	課題について説明・講義と実習
	H19年6月29日	久喜市 教員研修	講義「実践・保護者と地域と一緒に支える命の教育～心・脳を育む」と実習
さいたま市	H19年7月31日	教員研修・実習	動物飼育体験の教育的意義と課題回避方法・ふれあい実習
千葉県		柏市教員研修 毎年実施	
千葉市	H19年1月	教員研修・生活衛生課協力	鳥インフルエンザ対策
神奈川県	H19年7月5日	小田原市 教員研修	講義「学校飼育動物の飼育法など」
横浜市	毎年6月	飼育担当教師向け講習(悉皆研修)	
	H20年2月1日	H19年度 第2回 学校飼育動物研修会	パネルディスカッション「学校における動物飼育の教育的効果」
川崎市	毎年12月	教育委員会、獣医師会、教員のパネルディスカッション	
山梨県	年1回	教員研修	
東京都	H20年8月1日	都教職員研修	命の教育 学習指導要領と飼育の意義と方法論
市区町村単位 支部対応		板橋区(2回) 練馬区、杉並区、町田市、稲城市、八王子市、武蔵野市	飼育の教育的意義とあり方
	H19年10月13日(土)	東京都教師養成塾(H20年採用教員)	言葉では伝えられない、こころ、命を教え、脳を育む体験
	H20年6月16日	中野区幼稚園教育研究会	将来の育児につながる動物飼育体験～生命への感性を開く～
	H20年9月12日	中野区小学校理科教育研究会	学校飼育動物との付き合い方、授業への活用
	H20年11月9日	豊島区幼稚園教育研究会	みて ふれて 感じる心

28県と9政令都市

83回

新潟県	H19年5月24日	新潟市 教員研修(実習あり)	講義「学校での動物の飼い方接し方」
	H19年6月30日と 7月28日	新潟教育大学 生活科教育法 学 生に講義と実習	
	H19年8月22日	長岡市 教員研修	講義「こころ・命・脳を育む-生命尊重の教育と学校飼育動物の役割」講師3名
石川県	H18年10月13日	県 市民公開講座	講義「子どもが動物をいじめるとき・動物虐待から見えるもの」
福井県	H18年10月29日	研修(市民も)	「言葉では伝えられない 心・いのちの教育」
長野県	年1回	教員研修に協力	
岐阜県		毎年 シンポジウムとして研修	教育関係者、獣医師、学者が講師
	H20年2月17日	美濃市	シンポジウム「学校飼育動物への取組み」
愛知県	H19年8月1日	安城市 教員研修	講義「園・学校での動物飼育」
	H19年9月23日	岡崎市 教員研修	講義「学校教育における動物飼育」
三重県		三重大学生物教育 獣医師支援講義	
	H19年	県 新任教員研修	講義「学校飼育動物の重要性」
滋賀県	H19年8月7日	米原市 県教育研究会・小学校生活 科部会	講義
	H19年8月10日	野洲市 幼稚園新任教諭夏季研修	講義
京都府	毎年11月	11月 担当教諭研修会(宇治市)	
京都市	H19年7月24日	生活科・総合的な学習指導講座	『心はぐくむ飼育活動』の実習を支援
大阪府		東大阪市 教員研修	講義「学校・園における望ましい動物のあり方」
	H19年9月	堺市 教員研修	講義「飼育の意義とあり方」
	H18年12月7日	高槻市 教員研修	講義「冬の動物飼育について」
	H19年2月8日	和泉市 教員研修	講義「学校飼育動物について」
	H20年2月26日	大阪府指導主事・教員研修	講義「豊かな心を育む学校動物飼育」
大阪市	毎年2回	生活科研修	動物の飼い方
兵庫県	H20年2月1日	明石市 教員研修「動物飼育と教育」	～こころ・いのちの教育に、そして生物教育の基礎として～
神戸市	H19年7月31日	市 飼育担当者研修会	講義
奈良県		奈良市・無料去勢100匹、学校訪問800枝以上の実績なのに、対応後、連携事業は議会で否決された	
岡山県	H19年1月5日	県教職員研修	講義「学校飼育動物と生命尊重を育む指導」・相談会
広島県	H19年8月10日	県教職員研修 特別活動	講義と実習「子どもの心を育てる動物飼育」
福岡県	H19年5月24日	八女郡小学校教育研究会 生活課・ 総合部会	部会の一部で講義「子どもの学びを豊かにする・動物飼育」
	H19年8月28日	粕谷地区生活科相互的な学習研究 会	講義「学校の動物飼育と動物介在教育」
	H19年8月29日	保健主事・養護教諭研修会	講義「心の教育と動物飼育」
福岡市	H19年2月9日	学校保健教諭研修会	講義「インフルエンザの現状と飼育動物の扱いについて」

- 平成19年11月15日（木）西東京市
西東京市上向台小学校4年生
- 平成19年11月16日（金）東京
西東京市立保谷第二小学校4年生授業
- 平成19年11月29日（木）東京 ワークシ
ョップ
小平市立第三小学校1年生 生活科
- 平成19年11月30日（金）東京 授業支援
西東京市立けやき小学校4年生
- 平成19年12月4日（火）東京都中野区
中野区教育委員会生涯学習課 講演会
- 平成19年12月5日・12日（水）東京
日本獣医畜産大学5年生 講義
- 平成19年12月8日（土）岩手県
学校飼育動物に係わる講演会 獣医師向け
- 平成19年12月12日（水曜日）東京
東京都獣医師会 武蔵野三鷹支部内研修会
- 平成19年12月21日（金）白梅学園大学
子ども学科1年生講義
- 平成20年1月17日（木）宇都宮市
学校教育における動物飼育に関するシン
ポジウム
- 平成20年1月19日（土）実践女子学園中
学高等学校 授業「スペシャリストに学
ぶ」中学3年生
- 平成20年2月1日（金）兵庫県明石市
教員研修
- 平成20年2月1日（金）横浜市
平成19年度 第2回 学校飼育動物研修会
パネルディスカッション「学校における
動物飼育の教育的効果」（本研究会とは
別）
- 平成20年2月3日（日）宮城県仙台市
「学校飼育動物の意義と獣医師の役割」
- 平成20年2月17日（日）岐阜県美濃市
平成19年度シンポジウム「学校飼育動物
への取組み」
- 平成20年2月25日（月）長崎県
教員研修 諫早市立森山西小学校
- 平成20年3月16日（日）千葉県柏市
時間：15:00～17:00
場所：柏市保健勤労会館（2階）
内容：「学校飼育動物の現状と問題点・
獣医師向け」 講師：中川 美穂
子先生
対象：獣医師会員（東葛支部以外の方は
事前登録が必要です）
主催：社）千葉県獣医師会東葛支部
問い合わせ・申し込み先：なつめ動物病院
（以下2月末現在の予定）
- 平成19年7月19日（土）
第9回全国学校飼育動物研究大会
椿山荘（東京都文京区関口2-10-8 / 03-
3943-1111）
内容：＜基調講演＞
汐見稔幸 白梅学園大学学長
「～体験が子どもを育てる～（仮題）」
＜口頭発表・パネル発表＞
＜関連図書販売＞
- 平成20年7月25日（金）
第22回福島県全私立幼稚園教員研修大会
場所：福島市音楽堂
講師/中川美穂子
主催：福島県全私立幼稚園協会
- 平成20年7月28日（月）青森県
八戸市教員研修 時間：午後1時～
講師：中川美穂子
主催：社団法人青森県三八支部獣医師
会，八戸市教育委員会
- 平成20年7月29日（火）福岡市
日本幼児教育研究会・幼児教育セミナー
（福岡大会）
時間：午後1時～2時半（講座3）
場所：パピヨン24 ガスホール（福岡
市博多区千代1-17-1） 内容：講
座3 講演「教育としての飼育活
動のあり方と成果」 講師 中川
美穂子
主催：日本幼児教育研究会
- 平成20年7月31日（木）さいたま市教員

研修会

講師：中川美穂子

主催：さいたま市教育委員会

○平成20年8月4日（月）静岡県

静岡県私立幼稚園 平成20年度主任教員
研修会

会場：静岡県コンベンションアーツセン
ター「グランシップ」

（静岡駿河区池田79-4）

内容：基調講演 無藤 隆（白梅大学
教授）

講義1：中川 美穂子（全国学校飼育動
物研究会事務局長 「動物との
交流が、子どもの生涯に与える意
義 ～心・いのち・脳をはぐくむ
～」

講義2：今井 和子（立教女学院短期大
学教授）

「2歳児の自我の育ちと保育」

参加者：県内私立幼稚園の主任教員など
約170名

主催：（社）静岡県私立幼稚園振興協会
問合せ・申込み先：（社）静岡県私立幼
稚園振興協会

事務局（TEL 054-254-6820
FAX 054-255-3694）

○平成20年8月11日（月）姫路 教員研
修会

講師：中川美穂子

主催：姫路市教育委員会、姫路市獣医
師会

○平成20年8月15日 東京

東京都教職員研修センター

東京都教育委員会主催、教員研修

夏季集中講義 命の教育 中川美穂子ほか

○平成20年8月 町田市 学校飼育動物研
修会（20～22日のうちの1日）

時間：午後2時～4時

場所：町田市内の小学校を予定

対象者：学校飼育動物担当教諭

講師：獣医師会町田支部から2～3名と
他1名

主催：町田市教育委員会

協力：（社）東京都獣医師会町田支部

○平成20年8月27日（月）広島県 教員研
修会

講師：鳩貝太郎（国立教育政策研究所教
育課程研究センター総括研究官）

/中川美穂子（全国学校飼育動物
獣医師連絡協議会主宰）主催：広
島県教育委員会、広島県獣医師会

①子どもの心を育てる動物飼育：中川美
穂子

②教室飼育の実際 野村雅美 東広島
市立上黒瀬小学校校長

③広島県獣医師会和田安弘

【報告】

岐阜県獣医師会主催の平成19年度シン
ポジウム「学校飼育動物への取り組み」が
以下のとおり開催されましたので報告しま
す。鳩貝太郎

開催日時：平成20年2月17日（日）13:00
～16:30

開催場所：美濃市中央公民館

参加者：約150名（教育関係者等約120名、
獣医師約30名）主催：岐阜県獣医師会

共催：美濃市教育委員会 後援：岐阜県
教育委員会、美濃市、美濃市PTA連合会
開催内容

・開会のセレモニーで美濃市教育委員会
森和美教育長、岐阜県獣医師会近藤信
雄会長の挨拶に続いて来賓として岐阜
県教育委員会松川禮子教育長（代理）、
石川道政美濃市長、佐藤武彦岐阜県会
議員の祝辞があった。

・基調講演「動物飼育を通して命の大切
さと理科を学ぶ一言葉と体験を重視し
た教育を進めるために」鳩貝太郎

・講演「動物を飼育して、子どもや先